

Eco Action Report 2023

(対象期間：2022年10月～2023年9月)
2023年12月15日発行



®環境省

エコアクション21

認証番号0002530



ほうっておけない
未来のために



会社概要

事業所名及び代表者名

・株式会社丸萬商事 代表取締役 安本 晃

設立年月日

・昭和48年12月5日（創業 昭和36年5月）

資本金

・5,000万円

所在地

・本社 大阪府松原市三宅西1丁目345番地の7 TEL.072-336-2068 FAX.072-336-4591

・対象事務所：下記3ヶ所

①柏原営業所 大阪府柏原市国分東条町3273(株)ジェイテクト国分工場内

TEL.072-977-5882 FAX.072-977-5883

②堺営業所 大阪府堺市西区築港新町3丁1番地 UBE(株)堺工場内

TEL.072-280-6886 FAX.072-280-6888

③堺東営業所 大阪府堺市堺区市之町東5丁2-11 堺グリーンプラザ3階

TEL.072-228-1202 FAX.072-228-1220

環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

・責任者 代表取締役 安本 晃 TEL: 072-228-1202

・担当者 管理部環境安全課 前田 康則 TEL: 072-228-1202

事業の内容

- ・産業廃棄物収集運搬
- ・プラント清掃メンテナンス
- ・生産請負業務
- ・廃棄物処理にかかわるコンサルタント業務



事業年度

・10月～9月

環境経営方針

<環境経営理念>

株式会社丸萬商事は、産業廃棄物の収集運搬及びプラント清掃メンテナンス、生産請負業務等の事業活動全域において省資源・省エネルギー活動の推進と、地球温暖化防止の取り組みを全社員一丸となって行うと共に、持続可能な循環型社会の実現と国際社会共通の目標であるSDGsに取り組みます。

<環境保全への行動方針>

株式会社丸萬商事は、事業活動の中で環境目的・目標を設定して取り組み、環境負荷削減に努め、地域社会の発展に貢献します。

1、事業活動全般に伴う環境への負荷を削減するため、以下の項目を環境管理重点テーマとして取り組み、継続的な環境負荷の削減に努めます。

- ①収集運搬車両と営業車両の燃料使用量を削減し、排気ガスの抑制
- ②事業活動全体の電気使用量の削減
上記①②の活動を通じて、二酸化炭素排出量の削減に努める
- ③一般廃棄物の削減
 - ・一般廃棄物の適正処理及びリサイクル（再生利用）推進
 - ・事業活動でのリユース（再使用）の推進
- ④水資源の節水
- ⑤環境コンサルタント業務の促進

2、産業廃棄物収集運搬及びプラント清掃メンテナンス業等に係る環境関連法規・条例及びその他の要求事項を遵守します。

3、環境マネジメントシステムの継続的改善に努めます。

4、地域社会とのコミュニケーションを図り、環境活動に積極的に参加すると共に、社会貢献活動を継続的に実施します。

5、環境保全活動に取り組み、人と地球にやさしい社会の実現に貢献することにより、お客様から信頼される会社を目指します。

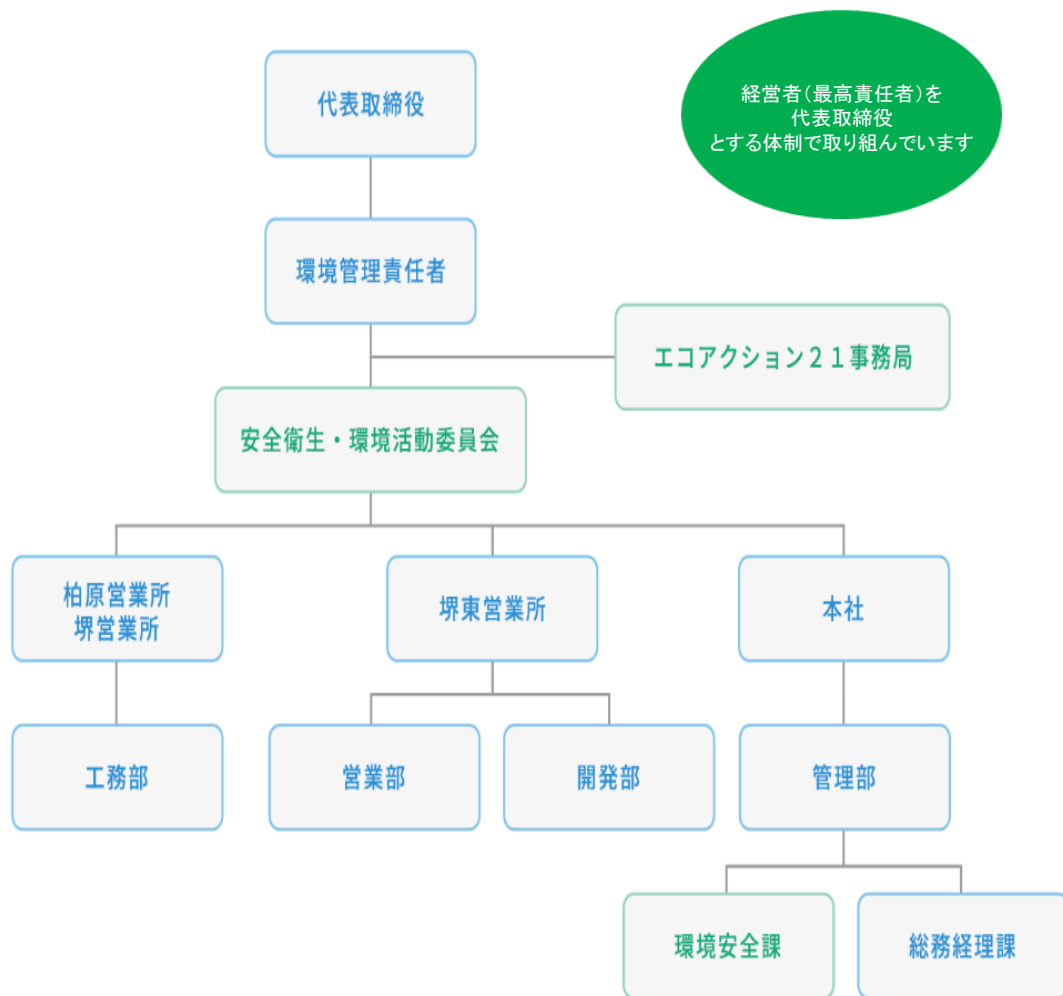
6、この環境経営方針を社員全員へ周知し、社員の成長と会社の永続的な成長を図ると共に社外へも公表します。



「松原市 SDGs パートナー」は、SDGs を推進、展開している企業・団体等を募集・登録・発信するとともに、市と企業等が連携して、SDGs の普及促進活動を行う制度です。

2022年 10月1日
代表取締役 安本 晃

環境管理体制 実施体制



役職	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 環境管理責任者を任命 環境経営方針の策定・見直し 環境経営目標・環境経営計画書を承認 代表者による全体の評価と見直し、指示 環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理 環境関連法規等の取りまとめ表を承認 環境経営目標・環境経営計画書を確認 環境活動の取組結果を代表者へ報告 環境経営レポートの確認
EA21事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐、環境委員会の事務局 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 環境活動の実績集計 環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 環境に関する内部監査の計画 環境に関する内部監査の実施・報告 環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
安全衛生 環境活動委員会	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営計画の審議 環境活動実績の確認・評価
部門長	<ul style="list-style-type: none"> 自部門における環境経営方針の周知 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 試行・訓練を実施、記録の作成 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

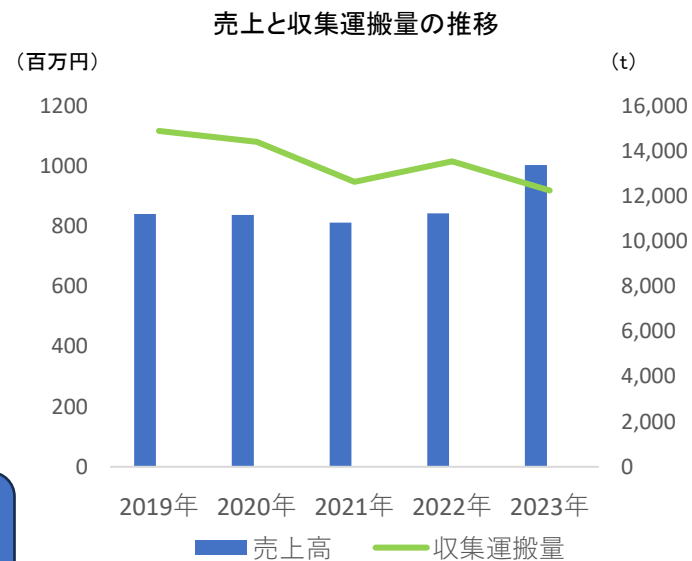
沿革

1961年05月	安本組として創業（上・下水道敷設、河川・下水道浚渫工事を主業務とする）
1973年06月	光洋精工株式会社と取引開始（構内清掃業務を主とする）
1973年12月	株式会社に組織変更し、社名を安本興業株式会社とする（資本金500万円）
1974年03月	建設業登録－大阪府知事認可（搬）第60454号取得
1974年06月	産業廃棄物収集運搬業許可取得
1977年04月	光洋精工株式会社 国分工場内に柏原営業所を開設
1990年10月	株式会社丸萬商事に社名変更する
1996年03月	資本金2,000万円に増資
1999年07月	宇部興産株式会社 堺工場内に堺営業所を開設
2003年12月	J W N E T に加入
2006年10月	資本金3,000万円に増資
2008年06月	エコアクション21認証取得
2011年08月	資本金5,000万円に増資
2015年05月	堺東営業所を開設
2015年07月	古物商許可を取得（自動車・自動二輪・原動付自転車・自転車・機械工具類）
2018年07月	エコアクション21認証・登録10年継続
2022年06月	「松原市 SDGsパートナー」を登録
2022年07月	全国健康保険協会 大阪支部「健康宣言の証」を取得
2023年05月	金属くず業許可取得



事業規模

	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
売上高（百万円）	841	837	814	843	1,003
収集運搬量（t）	14,892	14,399	12,625	13,538	12,253
従業員数（人）	38	36	36	38	41



収集運搬量は減少しましたが、コンサルティングビジネスが増加したため売上高は上昇しました。

● 延床面積 394.17㎡



本社 165.8㎡



柏原営業所 61.27㎡



堺営業所 45.36㎡



堺東営業所 121.74㎡

保有車両



1.15トンパワーゲートトラック 1台



3トンパワーゲートトラック 2台



10トントラック 1台



4トンダンプ車 1台



フォークリフト 2台



2トンバキューム車 1台



7トンブロー車 1台



4トンコンテナ車 1台



多目的 7トンコンテナ車 2台
コンテナ搭載時



ブロー装置搭載時



9m計量装置付ブロー車 1台



11m計量装置付ブロー車 2台



14KL危険物タンクローリー 2台



高圧JET洗浄装置搭載時



計量装置付き



7トンコンテナ車 4台



10トンコンテナ車 2台



7トンパッカー車 4台

計量装置付7トンパッカー車での回収に変更した場合
 ・複数の企業様をルート巡回して処理業者へ運搬する事が可能となるため、従来のパッカー車に比べて運搬費用が軽減できる。
 ・お客様の前で計量伝票を発行し、その場で受渡数量を確認できる。
 ※弊社の処理費の精算方法は重量精算

国内初 マニフェスト対応
 計量票即時発行システム

※弊社の自動計量パッカー車による産業廃棄物収集運搬システムにより、産廃排出事業者が、

- 1) 収集運搬コストの削減
 - 2) 産廃の保管スペースと分別スペースの確保
 - 3) 防火・防災管理の強化
 - 4) 食品工場での防虫・防臭等の衛生管理向上
 - 5) 部署毎の廃棄物排出量の把握・目標設定が可能となる
- 以上のメリットが図れる。

計量パッカー車
 システムは
 弊社考案で
 誕生しました!



計量装置本体



携帯端末機



計量伝票



後部積載重量デジタル表示

産業廃棄物収集運搬業許可

府・県名	区分	許可番号	許可年月日	有効年月日	備考
千葉県	産業廃棄物	第01200004771号	平成31年1月25日	令和6年1月24日	
	特別管理産業廃棄物	第01250004771号	平成31年1月25日	令和6年1月24日	
神奈川県	産業廃棄物	第01400004771号	令和5年6月15日	令和10年6月14日	
石川県	産業廃棄物	第01703004771号	令和5年9月11日	令和10年9月10日	
福井県	産業廃棄物	第01807004771号	令和4年2月28日	令和11年2月27日	優良
岐阜県	産業廃棄物	第02100004771号	平成31年2月18日	令和6年2月17日	
静岡県	産業廃棄物	第02201004771号	令和2年8月26日	令和7年8月25日	
愛知県	産業廃棄物	第02300004771号	令和2年6月5日	令和7年6月4日	
	特別管理産業廃棄物	第02350004771号	令和4年1月17日	令和11年1月16日	優良
三重県	産業廃棄物	第02400004771号	平成30年2月19日	令和7年2月18日	優良
	特別管理産業廃棄物	第02450004771号	令和5年7月20日	令和12年7月19日	優良
滋賀県	産業廃棄物	第02501004771号	令和4年6月25日	令和11年6月24日	優良
京都府	産業廃棄物	第02601004771号	令和元年12月18日	令和8年12月17日	優良
	特別管理産業廃棄物	第02651004771号	令和5年12月1日	令和12年10月22日	優良
大阪府	産業廃棄物	第02700004771号	令和5年4月28日	令和12年4月27日	優良
	特別管理産業廃棄物	第02750004771号	令和4年7月1日	令和11年6月30日	優良
兵庫県	産業廃棄物	第02804004771号	令和5年2月2日	令和12年2月1日	優良
	特別管理産業廃棄物	第02854004771号	令和3年6月1日	令和10年5月31日	優良
奈良県	産業廃棄物	第02900004771号	平成29年6月5日	令和6年6月4日	優良
	特別管理産業廃棄物	第02950004771号	令和5年6月1日	令和12年5月31日	優良
和歌山県	産業廃棄物	第03000004771号	令和4年8月23日	令和11年8月22日	優良
岡山県	産業廃棄物	第03308004771号	令和3年3月16日	令和10年3月15日	優良
	特別管理産業廃棄物	第03350004771号	令和4年10月29日	令和11年10月28日	優良
広島県	産業廃棄物	第03400004771号	令和2年8月6日	令和7年8月5日	
	特別管理産業廃棄物	第03450004771号	平成31年1月4日	令和6年1月3日	
山口県	産業廃棄物	第03500004771号	平成31年3月11日	令和8年3月6日	優良
	特別管理産業廃棄物	第03550004771号	平成31年3月11日	令和8年3月6日	優良
徳島県	産業廃棄物	第3600004771号	平成29年5月17日	令和6年4月26日	優良
	特別管理産業廃棄物	第3650004771号	平成29年5月17日	令和6年4月26日	優良
香川県	産業廃棄物	第03709004771号	令和3年6月9日	令和8年6月8日	
愛媛県	産業廃棄物	第03806004771号	平成31年3月24日	令和8年3月23日	優良
高知県	産業廃棄物	第03900004771号	令和5年6月19日	令和10年6月18日	
福岡県	産業廃棄物	第04000004771号	令和3年12月9日	令和10年12月8日	優良
	特別管理産業廃棄物	第04050004771号	平成29年12月20日	令和6年12月19日	優良
沖縄県	産業廃棄物	第04704004771号	令和3年11月15日	令和8年11月14日	

新規

今年度(2023年度)は
神奈川県・石川県・高知県で
産業廃棄物収集運搬業の
許可を取得しました



優良

産業廃棄物は
13都道府県・
特別管理産業廃棄物は
10都道府県より
優良認定を頂いてます



産業廃棄物許可品目

● 許可取得

府・県名		千葉県	神奈川県	石川県	福井県	岐阜県	静岡県	愛知県	三重県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛県	高知県	福岡県	沖縄県	
種類	燃え殻	●	●	●	●	●	●	●	●			●		●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	汚泥	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	廃油	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	廃酸	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	廃アルカリ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	廃プラスチック	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	紙くず	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	木くず	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	動物性残さ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	ゴムくず	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	金属くず	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	ガラスくず	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	鋳さい	●	●	●	●	●	●	●	●			●	●	●			●	●		●	●	●	●	●	
	がれき類	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	
	ばいじん	●	●	●	●	●	●	●	●			●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	産業廃棄物含む石綿含有産業	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	
	産業廃棄物水銀使用製品	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
水銀含有ばいじん等	燃え殻	●	●	●	●	●		●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	汚泥	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	廃酸	●	●	●	●	●		●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	廃アルカリ	●	●	●	●	●		●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	鋳さい	●	●	●	●	●		●	●				●	●			●	●		●	●	●	●	●	
	ばいじん	●	●	●	●	●		●	●				●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	

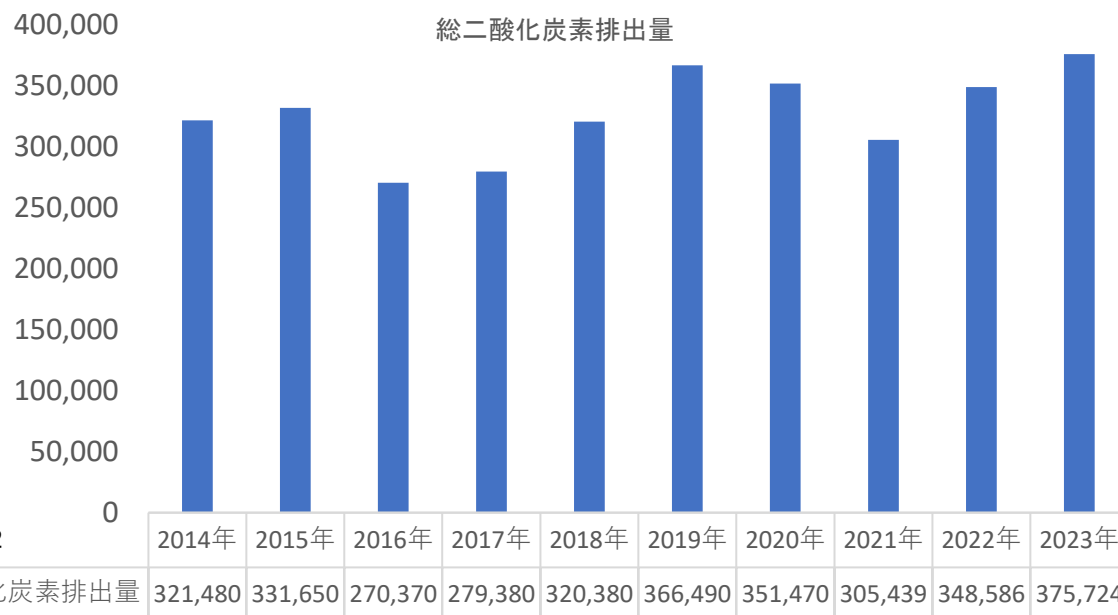
特別管理産業廃棄物許可品目

● 許可取得

府・県名 種類	千葉県	愛知県	三重県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	岡山県	広島県	山口県	徳島県	福岡県
燃え殻	●	●	●	●			●	●	●	●		●
汚泥	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
廃油	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
廃酸	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
廃アルカリ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
ばいじん	●	●		●	●	●	●	●	●	●		●
廃石綿等	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
廃水銀等	●	●		●	●	●	●		●			
廃PCB等 (低濃度PCB廃棄物)				●	●	●		●				●
PCB汚染物 (低濃度PCB廃棄物)				●	●	●		●				●

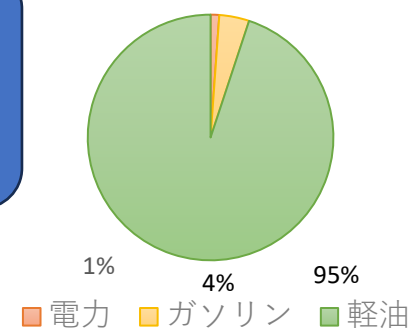
環境経営目標

項目	基準年	環境経営目標				
	2021年実績	2023年(目標値)	2023年(実績)	達成状況	2024年	2025年
電力使用量の削減 (kg-CO2)	4,650	4,557	3,538	○	4,511	4,464
ガソリン使用量の削減 (kg-CO2/時間)	4.84	4.74	4.55	○	4.69	4.65
軽油使用量の削減 (kg-CO2/時間)	16.39	16.06	16.05	○	15.90	15.73
一般廃棄物排出量の削減 (kg)	1,074.6	1,053.3	662.4	○	1,042.5	1,031.6
水使用量の削減 (m ³)	274.3	268.8	229.3	○	266.1	263.3
環境保全に配慮した提案コンサルティング (件)	10	12	12	○	13	14



売上があがって
総二酸化炭素排出量
は増えているが原単位
ではさがっています。

二酸化炭素排出量割合



環境経営計画の内容

2023年度 環境経営活動計画(2022年10月～2023年9月)

環境活動	基本方針	環境保全活動に取り組み、環境に優しい社会の実現に貢献する											
	目標	事業活動の中で環境負荷の削減に努める											
	年間取組内容	二酸化炭素排出量削減(節電・節水・燃料の節約) 資源の保護(ゴミの削減) ペットボトルキャップで世界の子供にワクチンを											
	2023年度	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
具体的実施内容	内容	新年度環境目標設定 従業員への取組み数	法令・法案教育 従業員への取組み数	営業所内と 周辺美化作業 従業員への取組み	法令・法案教育 従業員への取組み 教育	従業員への 取組み教育	営業所内と 周辺美化作業 従業員への取組み	従業員への 取組み教育	水防訓練実施 従業員への取組み 教育	営業所内と 周辺美化作業 従業員への取組み	従業員への 取組み教育	従業員への 取組み教育	営業所内と周辺美化 ペットボトルキャップ回収 従業員への取組み
	実施責任者	従業員教育	環境関連法規等 の教育	従業員教育	環境関連法規等 の教育	従業員教育	従業員教育	従業員教育	従業員教育	従業員教育	従業員教育	従業員教育	従業員教育
	内容	今年度の環境経営方針、 環境目標の説明、把握 ペットボトルキャップ 支援動画	道路運送車両法、 道路交通法の学習	営業所内 と周辺の清掃 SDGs:動画教育	廃棄物処理法と 関連法の学習	達成状況の把握 及び 今後の対応	営業所内と 周辺の清掃 達成状況の把握及び 今後の対応	EA21更新審査 の書類審査	土のう作りと ロープワークを習得 達成状況の把握及び 今後の対応	営業所内 と周辺の清掃	達成状況の把握 及び 今後の対応	達成状況の把握 及び 今後の対応	各営業所からペットボトル キャップ回収し集客へ 営業所内 と周辺の清掃 達成状況の把握及び 今後の対応
	実施責任者	EA21事務局 各部門長	EA21事務局 各部門長	EA21事務局 各部門長	EA21事務局 各部門長	EA21事務局 各部門長	EA21事務局 各部門長	EA21事務局 各部門長	EA21事務局 各部門長	EA21事務局 各部門長	EA21事務局 各部門長	EA21事務局 各部門長	EA21事務局 各部門長
環境経営活動	基本方針	会社の成長と発展の推進											
	目標	持続可能な循環型社会の実現に取り組む											
	2023年度	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
	内容	経理報告会議	経理報告会議	経理報告会議	経理報告会議	経理報告会議	経理報告会議	経理報告会議	経理報告会議	経理報告会議	経理報告会議	経理報告会議	経理報告会議
実施責任者	会社運営会議	会社運営会議	会社運営会議	会社運営会議	会社運営会議	会社運営会議	会社運営会議	会社運営会議	会社運営会議	会社運営会議	会社運営会議	会社運営会議	
	安全衛生環境会議	安全衛生環境会議	安全衛生環境会議	安全衛生環境会議	安全衛生環境会議	安全衛生環境会議	安全衛生環境会議	安全衛生環境会議	安全衛生環境会議	安全衛生環境会議	安全衛生環境会議	安全衛生環境会議	
実施責任者	役員・総務経理課 環境安全課・各部門長	役員・総務経理課 環境安全課・各部門長	役員・総務経理課 環境安全課・各部門長	役員・総務経理課 環境安全課・各部門長	役員・総務経理課 環境安全課・各部門長	役員・総務経理課 環境安全課・各部門長	役員・総務経理課 環境安全課・各部門長	役員・総務経理課 環境安全課・各部門長	役員・総務経理課 環境安全課・各部門長	役員・総務経理課 環境安全課・各部門長	役員・総務経理課 環境安全課・各部門長	役員・総務経理課 環境安全課・各部門長	

取り組み評価と次年度計画

● 電気使用量の削減



温湿度計設置



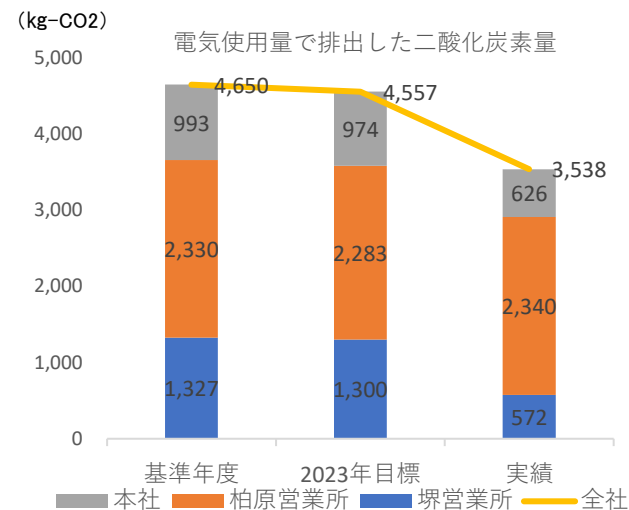
ブラインドで窓からの熱を遮断



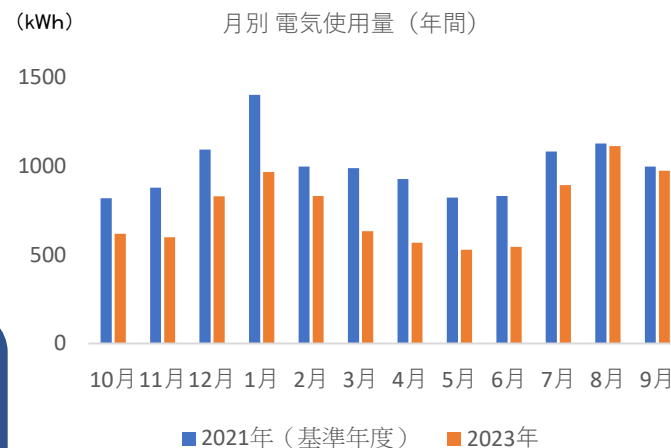
照明の間引き・LED化

目標値	実績値	達成率
4,557kg-CO2	3,538kg-CO2	129%

※大阪ガス2017年度の排出係数、0.389 kg-CO2/kWhを使用



取り組み内容		達成状況	次年度取り組み
照明	無人エリア・未使用時のこまめな消灯	○	継続
	社内照明器具類のLED化促進	○	継続
空調	空調温度設定厳守(冷房28度/暖房20度)	△	強化
	空調機の定期的な清掃	○	継続
	使用していない部屋の空調停止	○	継続
その他	OA機器の省電力設定(入替時には、エネルギー効率の高い機器に導入)	○	継続
	ブラインド等による熱の出入りの抑制	○	継続



工務部
森井課長

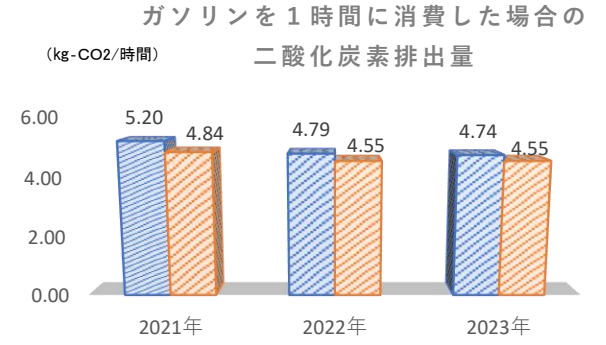
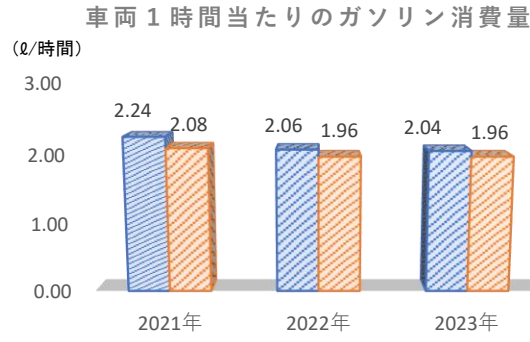
担当者コメント

事務所の各所に温湿度計を設置し、冷房は28℃以上・暖房は20℃以下でキープするように空調機の温度調整を行っています。ただ夏季(8.9月)は熱中症対策でエアコン使用量が増え電気使用量が上がりましたがエアコン内部清掃(専門業者)やヘッドライト充電器の過充電をしない様、こまめに抜いたりと取り組みました。更に節電意識を高めていくよう全員で考え実行していきます。

● ガソリン使用量の削減



目標値	実績値	達成率
4.74kg-CO2/時間	4.55kg-CO2/時間	104%



■ 目標値 リットル/時間 ■ ガソリンの使用量 リットル/時間

■ 目標値 kg-CO2/時間 ■ ガソリンの使用量 kg-CO2/時間



エコドライブ啓発

ハイブリッド車(営業車両)を使用

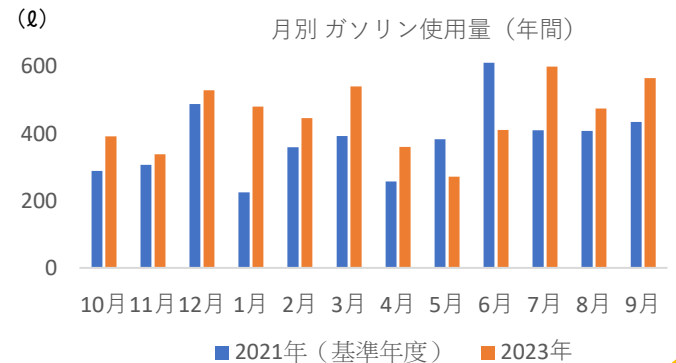
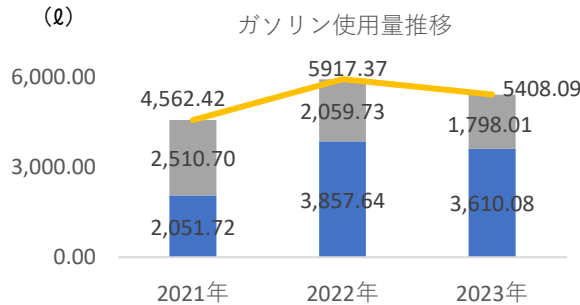
取り組み内容	達成状況	次年度取り組み
エコドライブの励行 (アイドリングストップの徹底、空ふかし、急発進、急加速の禁止)	○	継続
車両の定期的な点検・整備実施 (エンジンオイル、タイヤの摩耗状況・空気圧確認)	△	強化
デジタル式運行記録計・ドライブレコーダーの設置	○	継続



工務部
土本係長

担当者コメント

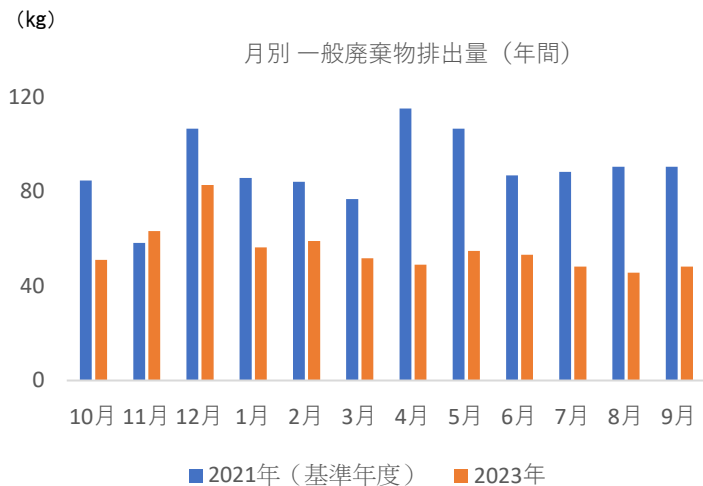
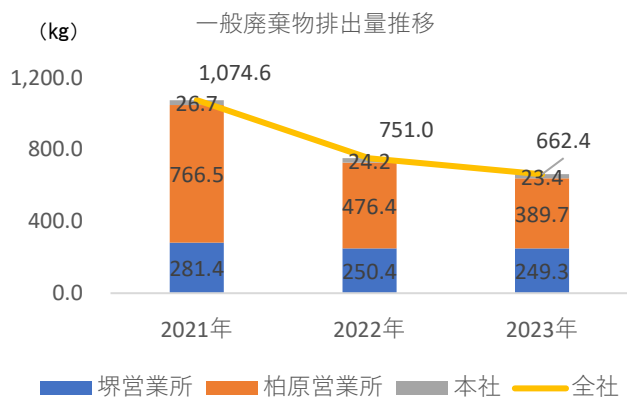
今年度は、遠方への使用が増えガソリン使用量の増加傾向にあります。アクセル・ブレーキの踏み方、タイヤの摩耗等自分でできる動作や点検整備を終礼にて周知徹底を行い全員の意識を高めていきます。



● 一般廃棄物排出量の削減



目標値	実績値	達成率
1,053.1kg	662.4kg	159%



軍手・ゴム手袋・ウエスは洗って再利用しています



分別ゴミ箱



裏紙使用の促進



取り組み内容		達成状況	次年度取り組み
省資源	書類の簡素化	△	強化
	ミスコピー防止・無駄な印刷削減	△	強化
	両面印刷の徹底	○	継続
	使用済みカレンダーなどの裏紙活用	○	継続
	使用済み封筒の再利用	○	継続
排出抑制	詰替え可能な製品の利用	○	継続
	OA機器等の長寿命化	○	継続
	3S活動の実施(整理・整頓・清掃)	○	継続
	分別廃棄の徹底による、廃棄物の再利用	○	継続
リサイクル促進	ゴミの分別徹底	○	継続
	シュレッダー処理紙のリサイクル化	○	継続
	トナーカートリッジのリサイクル化	○	継続



環境安全課 藤原さん

担当者コメント

FAX受信の管理を行い不要なDMを廃止、設定変更し閲覧のみで済むものは出力せず紙資源の節約を進めています。軍手・ウエスも可能な限り再利用して、引き続きゴミ削減に皆で努めていきます。

● 水使用量の削減



目標値	実績値	達成率
268.8m ³	229.3m ³	117%

取り組み内容	達成状況	次年度取り組み
節水呼びかけの表示	○	継続
手洗い時、洗い物は日常に節水励行	○	継続
社用車の洗車の適正化	○	継続
ホースに手元バルブを取り付けて流しっぱなし防止	○	継続

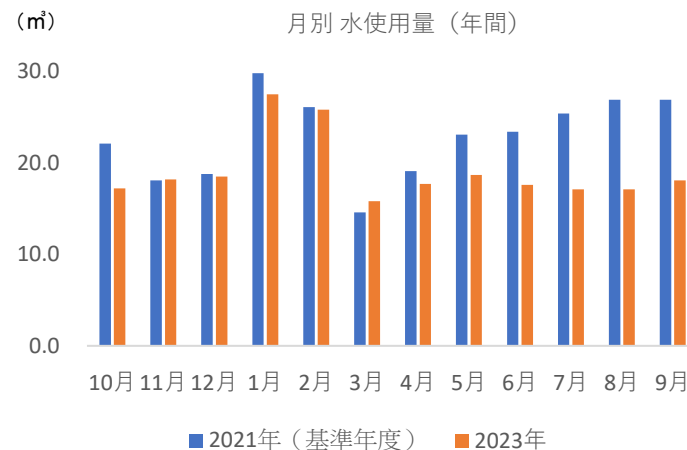
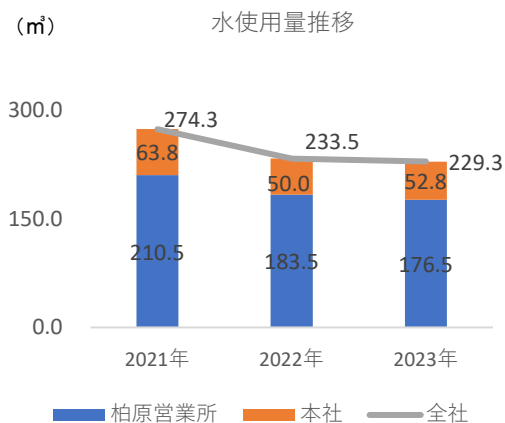


- ◆ すぎの回数及び水位を減らす
- ◆ 洗剤は適量使用する
- ◆ 洗濯物はまとめて洗いし、回数を減らす

■ 1回まとめて洗いをすると
150%節水 × 75本分



節水啓発



工務部
在原さん

担当者コメント

洗濯はまとめて洗い、夏場の麦茶を以前は大きなやかんで作っていましたが飲み残しが多かったのでポットで作り、飲み残しが無くなった。トイレ掃除の洗剤使用を2日1度にし、水の使用量削減に努めました。

環境保全に配慮した提案

コンサルティング

※廃棄物処理、生産現場の困りごとなら、丸萬商事へご相談ください

廃棄物は排出事業所と収集運搬・処理事業者のマッチングが非常に重要であり、この最適な組み合わせのコンサルティング業務を丸萬商事は近年注力してまいりました。

近年高まるCSRへの取組み、企業コンプライアンスなど、企業はこれまで以上に産業廃棄物に関する様々な問題と正面から向き合う時代となっております。私たち丸萬商事は、長年にわたって培った経験と情報をもとに、産業廃棄物処理法他関係法令に則り、お客様の身近な相談窓口として廃棄物削減や安全処理のための最適なアドバイスやご提案をさせていただきます。また、多様な側面からお客様をサポートできるよう、廃棄物処理・処分業者をはじめとするプロフェッショナルパートナーと強い連携を築いています。

■ CSR対応 ■ リスクマネジメント ■ 監督管理 ■ 窓口業務



光和精鉱様より表彰状をいただきました

PFOS、PCBなどの
安定処理の基盤整備
を行うことにより差別化・
社会貢献を図っています

PFAS (PFOS・PFOA) 処理

PFASとは



PFASとは、炭素とフッ素の結合を持つ有機化合物の総称です。

代表的なものとして、PFOS(ペルフルオロオクタンスルホン酸)、PFOA(ペルフルオロオクタン酸)があり、「残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約」において残留性有機汚染物質に追加指定されました。また、日本においても製造、使用等が事実上禁止となりました。環境省は2022年9月に「PFOS及びPFOA含有廃棄物の処理に関する技術的留意事項」を公表し、実証実験を行い、適正にPFOAを処理できることを確認出来た事業所にPFOS含有廃棄物の処理を委託する事と定めています。

PFAS処理認定事業者と連携した 安全で適正な回収処理

丸萬商事は、創業約50年の実績をもとに優良業者認定を受け、PFAS含有廃棄物に対しても複数のPFAS処理認定業者と連携し、様々な車庫にて安全で適正な回収処理業務を行っております。

九州圏域内での処理が可能

PFOS含有廃棄物に続き、PFOA含有廃棄物の処理も光和精鉱様で可能となりました(光和精鉱様 発表 2023年10月23日付け)。2023年4月以降実証実験を行い、分解率、管理目標値等を確認し、所轄官庁へ報告を行いました。これにより、PFOA含有廃棄物だけでなく、PFOS/PFOA含有混合廃棄物の適正処理も行うことが可能となり、遠方輸送の軽減に貢献できる体制となりました。



PCB処理



PCBとは

PCBとは「ポリ塩化ビフェニル」の略称で、人工的に作られた主に油状の化学物質です。PCBの特徴は「水に溶けにくく沸点が高い」「熱で分解しにくい」「不燃性」「電気絶縁性が高い」など、化学的にも安定な性質を有します。かつてはトランス（変圧器）やコンデンサ（蓄電器）の絶縁油をはじめ、熱媒体や潤滑油、ノンカーボン紙など様々な用途で利用されてきました。しかし、1960年代後半から生体への影響や環境汚染が社会問題となり、1972年に製造が中止になりました。処分の期限が迫ってきていますので早めの処理計画をお勧めします。

PCB廃棄物処理の分類

種類	処理施設	処理期限
高濃度PCB (5000mg/Kg超)	JESCO (中間貯蔵・ 環境安全事業株式会社)	最長2025年3月末 まで
低濃度PCB (0.5mg/Kg超～5000mg/Kg以下)	無害化処理認定施設 都道府県知事等許可施設	2027年3月末まで
非PCB廃棄物 (0.5mg/Kg以下)	産業廃棄物処理施設	—

水銀廃棄物処理

2013年10月に採択された「水銀に関する水俣条約」により廃棄物処理法に新たに水銀使用製品、水銀含有ばいじん等の品目が定められ適正な措置が必要となりました。丸萬商事は、日本で唯一の水銀リサイクル処理企業である野村興産株式会社の窓口会社として水銀廃棄物の適正な処理方法の御相談にお応えさせていただきます。多い、少ないに関わらずお問い合わせ下さい。

水銀使用製品産業廃棄物

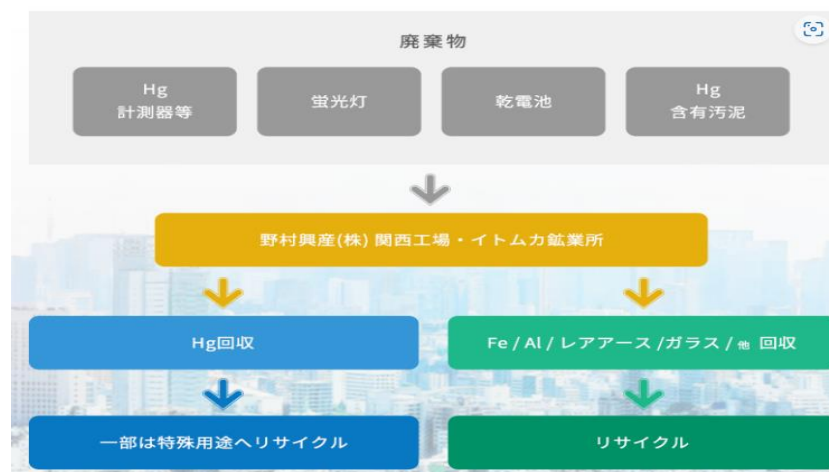
一部の電池、蛍光灯ランプ、電気制御用のスイッチ及びリレー、水銀体温計水銀血圧計等の水銀を使用した製品が産業廃棄物となったもの。



写真提供：環境省

処理フロー

野村興産(株)では各廃棄物を必要に応じ関西工場にて集荷、破碎・選別、保管を行い、同社イトムカ鉱業所(北海道)にて水銀回収と他金属のリサイクル回収を行います。



コミュニケーション

● 環境コミュニケーション

エコアクション21

環境経営活動レポートのホームページ公開



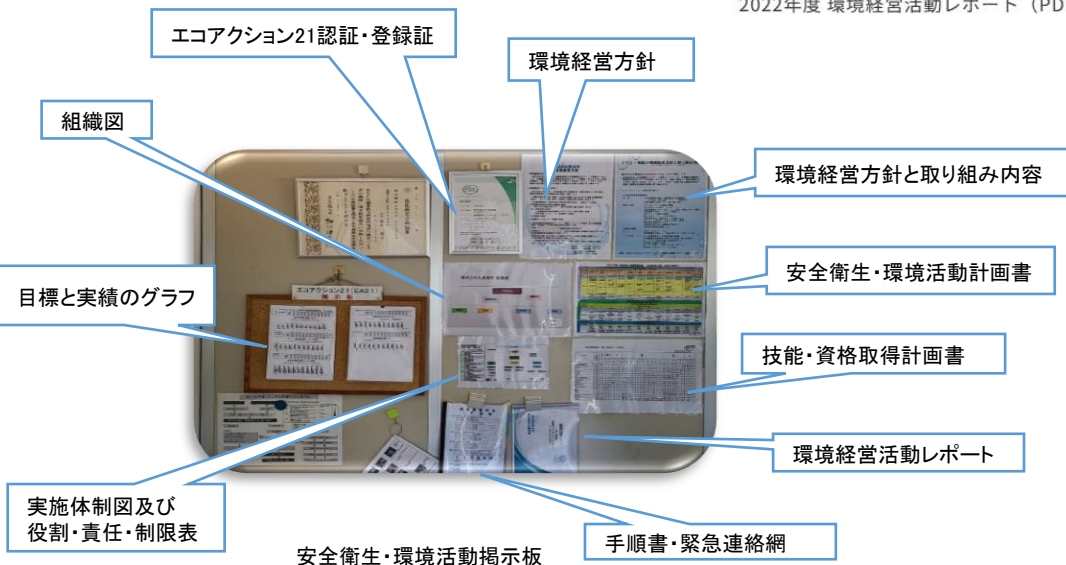
2022年度 環境経営活動レポート (PDF)



2021年度 環境経営活動レポート (PDF)



2020年度 環境経営活動レポート (PDF)



安全衛生・環境活動掲示板

● 外部コミュニケーション



2023年3月 大和川・石川クリーン作戦 参加の様子



2023年2月(D社)・3月(K社) 講師としてPFOS・PFOAの講習会を行いました

取り組み内容	達成状況	次年度取り組み
ウェブサイト上で環境に関する情報を提供	○	継続
環境に関する主要な目標・担当者の連絡先の公表	○	継続
環境の意見聴取を定期的を実施	○	継続

労働安全衛生への取り組み内容

2023年度 安全衛生活動計画(2022年10月～2023年9月)

基本方針	全員参加の改善で安全快適職場を構築しよう(機械・設備の安全管理・適正使用、作業方法の周知徹底、作業員の教育・訓練、健康管理による品質・労働安全衛生の向上を図り、快適な職場を構築する)											
目 標	労働災害ゼロ、設備災害ゼロ、交通事故ゼロ											
2023年度	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
全国の運動週間、月間	全国労働衛生週間 10月1日～7日	秋季全国火災予防運動 11月9日～15日	年末年始無災害運動 12月15日～1月15日		省エネ月間 2月1日～28日	春季全国火災予防運動 3月1日～7日	春の全国交通安全運動 4月6日～15日	水防月間 5月1日～31日	危険物安全週間 6月5日～11日	全国安全週間 7月1日～7日	防災週間 8月30日～9月5日	秋の全国交通安全運動 9月21日～9月30日
弊社月間テーマ	快適な職場環境の整備 10月7日～18日	防火訓練 11月7日～15日	安全総点検 12月1日～20日	危険予知訓練 1月4日～15日	省エネ行動とエコドライブの推進 2月7日～20日	火災予防運動 3月1日～7日	交通事故の撲滅活動 4月9日～17日	熱中症予防 5月1日～9月30日	危険物災害の防止 6月5日～11日	労働災害防止活動 7月9日～17日	緊急・救急時対応訓練 8月6日～23日	交通ルールの遵守 9月21日～30日
具体的実施内容	1 コロナ感染予防動画教育 新型コロナウイルスについて動画教育 2 インフルエンザコロナウイルス予防掲示物貼付 3 ナスバ運転者適性診断受講 ※社用車使用する者	1 火災予防の訓練実施 ・火災発生連絡網 2 消火器の自主点検実施 3 全国統一防火標語の募集	1 バイク車の実技講習(新人) 2 大型車の車輪脱落事故防止対応教育 3 ヒヤリハット抽出 4 電動工具の点検(柏原営業所) 5 移動タンク貯蔵所定期点検実施(堺営業所) 6 工具・物品棚の整理と不要物の処分・4S	1 イラストシート等を使って、危険予知トレーニング実施(新人+作業責任者以外の従業員) 2 ヒヤリハット報告 3 電動工具の点検(堺営業所)	1 省エネ行動の推進動画教育 2 エコドライブ10選の動画教育・エコドライブ10すずめ掲示	1 車両火災予防動画教育(STOP車両火災掲示) 2 運転記録証明書(1年)を提出 3 移動タンク貯蔵所定期点検実施(堺営業所) 4 工具・物品棚の整理と不要物の処分(柏原、堺営業所)	1 警察によるオンライン交通安全講習会(柏原・堺営業所) 2 安全運転自己チェック実施	1 熱中症予防の教育実施 2 熱中症掲示物貼付(熱中症予備指示(9/30迄)) 3 水害(台風、ゲリラ豪雨)時の対応数 4 消火器の自主点検実施	1 危険物に関する知識動画教育実施 2 スポーツドリンク又は水と塩飴の配布を1日から実施 3 電動工具の点検(柏原営業所) 4 移動タンク貯蔵所定期点検実施(堺営業所) 5 工具・物品棚の整理と不要物の処分(柏原、堺営業所)	1 労働災害事例による動画教育実施 2 社内災害報告事例による再教育 3 健康障害防止・健康診断異常所見者の対応 4 電動工具の点検(堺営業所)	1 緊急時対応連絡網訓練の実施・工場内での事故発生連絡網 2 普通救命講習参加 3 社内安全標語募集 4 技能・資格取得、新年度安全衛生計画を会議で承認	1 交通ルールの遵守動画教育実施(全国交通安全運動) 2 スポーツドリンク又は水と塩飴の配布を月末で終了 3 社内安全標語結果発表 4 技能・資格取得、新年度安全衛生計画を会議で承認 5 車両、機材類不具合 6 移動タンク貯蔵所定期点検実施(堺営業所) 7 工具・物品棚の整理と不要物の処分・4S
実施責任者	環境安全課・各部門長	環境安全課・各部門長	環境安全課・各部門長	環境安全課・各部門長	環境安全課・各部門長	環境安全課・各部門長	環境安全課・各部門長	環境安全課・各部門長	環境安全課・各部門長	環境安全課・各部門長	環境安全課・各部門長	環境安全課・各部門長
主要行事	柏原営業所夜勤業務者特定業務従事者健康診断(労働安全衛生法第66条第1項、規則第45条)		前期の社内レク行事(新年会・永年勤続褒賞)				定期健康診断(労働安全衛生法第66条第1項、規則第44条)		後期の社内レク行事(営業所別で慰労会)			

【安全衛生方針】

機械・設備の安全管理・適正使用、作業方法の改善等リスク除去・低減に取り組むと共に、教育・訓練、健康管理の充実により品質・労働安全衛生の向上を図り、安全・安心・快適な職場の構築に努めます。

会社は、この経営方針達成のために、以下の事項を全社員に周知徹底し、推進します。

- 1.計画・目標の設定、実行、評価、改善のサイクルを全員参加のもとに、確実に実施して業務の継続的改善を図ります。
- 2.事業活動の推進に当たっては、適用される関係法令等の順守およびお客様の要求事項等を満足することを基本とします。
- 3.反社会的勢力との関わりを一切持たないこととし、反社会的勢力の排除に向けて取り組みます。

2022年10月1日
代表取締役 安本 晃

◆ 全営業所で毎月1回定期的に安全衛生会議を実施

(議題例)

- 安全衛生活動計画の周知と実施結果の確認
- 新型コロナウイルス感染症対策
- 熱中症対策
- インフルエンザ予防対策
- 時間外労働状況の共有確認
- 社内外における災害報告の共有と対策確認
- 環境活動の達成状況の把握及び今後の対応



WEB形式による安全衛生会議の様子

安全への取り組み

● 就労前健康状態チェック

日々就労前に飲酒運転防止のためのアルコールチェックの他、
血圧と体温（朝昼2回）を測定し業務を確実に遂行できるよう管理
しています。



アルコールチェック



血圧チェック



体温チェック

● 作業指示書・KYM実施記録

KYMとは、「危険(K)・予知(Y)・ミーティング(M)」の略で、作業指示を確認し
日常の現場などで起こりうる事故などを未然に防ぐことを目的として現場毎
に実施しています。

作業指示書・KYM実施記録



工事管理板

2020年 月 日(曜日) 天気: _____

就労前健康状態管理表

【目的】 管理職と安全衛生担当が社員の就業前の体調を確認し、体調不良による労働災害を未然に防止すること。
【管理職の責務】 管理職と安全衛生担当は、心の記入があれば、社員と協議のうえ、業務内容の変更や作業の割り振り、
飲酒チェックで、**酒気濃度が0.15mg以上**であれば、作業を中止し、1時間以上待機後、**酒気が**
血圧チェックで、160～179 / 100～109【作業負担(中等程度)】に該当する、業務内容の変更
血圧チェックで、**100以上 / 100以上**に該当する場合は、**作業負担(軽微)に該当する業務を行い、協議の**
結果、業務負担の軽減を受け、今後の体調不良防止と管理職と安全衛生担当に報告する。
体温が37.0度以上ある場合は、作業を中止し、安全確認後に報告を行う。
【その他】 早朝・夜間出勤等により、体調不良の場合は、社員自身が確認する。

確認項目	確認時間	確認結果
1. 腰痛・頭痛などを我慢している		
2. 気分が悪い		
3. お腹をこわしている		
4. 疲れや眠気を感じる		
5. その他、健康状態に関して何か気になる事がある		
6. 体温チェックの結果		
7. 飲酒チェックの結果【酒気濃び(0.15mg以上)】		
8. 咳の有無		
9. 血圧チェックの結果		

※成人の血圧の正常値は「140/90mmHg未満」

本人署名 _____
確認者署名 _____

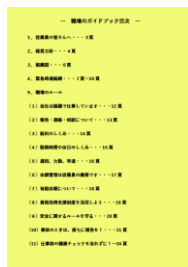
車両点検者

項目	確認結果	備考
ブルーシート量	異常なし	異常あり
サイドブレーキの効き具合	異常なし	異常あり
ブレーキペダルの踏み具合	異常なし	異常あり
排気ブレーキの効き具合	異常なし	異常あり
エアータンクの漏れは無い	異常なし	異常あり
汚れた面	異常なし	異常あり
ウォッシャー液量	異常なし	異常あり
ワイパーの劣化	異常なし	異常あり
鏡筒	異常なし	異常あり
空気圧	異常なし	異常あり
音(ムネ、音)	異常なし	異常あり
ホイール	異常なし	異常あり
ヘッドライト・フォグランプの点灯具合	異常なし	異常あり
ブレーキランプの点灯具合	異常なし	異常あり
指示器ランプの点灯具合	異常なし	異常あり
後部は無い	異常なし	異常あり
ハンドルの操作具合(横み、ガタつき等)	異常なし	異常あり
警報装置	異常なし	異常あり
ホンが鳴るか	異常なし	異常あり
エンジンルーム	異常なし	異常あり
冷却水	異常なし	異常あり
作動油の量	異常なし	異常あり
荷台・荷物の荷重	異常なし	異常あり
P.T.O.の入り具合	異常なし	異常あり
アースの接続は無い	異常なし	異常あり
トラクタシート・ゴムロープ	異常なし	異常あり
巻締止め	異常なし	異常あり
作業員の保護具は有るか	異常なし	異常あり

教育・訓練



入社教育時
職場のガイドブック配布



2022年10月 NASVA適性診断受講



2022年11月 消火訓練



2023年4月 交通安全講習



2023年8月 救命入門コース講習会

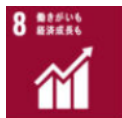


2023年8月 緊急事態通報訓練

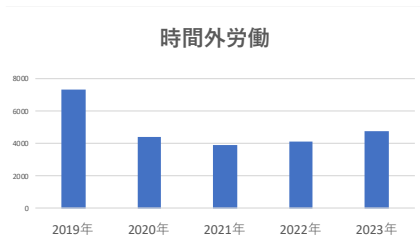
教 育 名	対 象	教育サイクル	2023年度 実施状況
入社時教育 (環境への取組、方針、他)	新入社員	発生都度	10月～9月
一般教育 (環境経営方針、目標、各自の役割・権限・責任他)	全従業員	年1回	10月
環境関連法規等の教育	全従業員	年2回	11月・1月
緊急時対応教育訓練 (対応手順、訓練他)	関連従業員	年2回	11月・8月
交通安全教育	全従業員	年1回	4月
労働安全衛生教育、一般教育 (ヒヤリハット教育、生活習慣病、熱中症予防、労働災害事例)	全従業員	年9回	10月・12月・1月・2月・3月 ・5月・6月・7月・9月

定期的な教育により労働・品質・設備・環境について社員のレベルアップを図っています。

魅力ある職場づくり



● 働き方改革(時間外労働の削減・有給休暇取得の推進)



働き方改革(時間外労働・休日増等)を実施しており、更に従業員満足度の向上を図っていきます。

● 永年勤続表彰



2021年度より新たに永年勤続表彰制度を導入しました！！

勤続10年1名の方が褒賞を授与されました。

● インフルエンザ予防接種の推進

インフルエンザ感染防止の為「発症の抑制」「重症化の予防」など安心して仕事ができるようにインフルエンザ予防接種費用の補助をおこなっています。



● 安全標語表彰



毎年安全標語を募集(2023年度応募44件)し、優れた作品を創作した方の表彰を実施しています。応募の中から「金賞」「銀賞」「銅賞」を選出し、1年間掲示し安全意識の高揚を図っています。

● 熱中症対策



6-9月にスポーツドリンク・水と塩飴を配布。OSIを常備しています。新たな取り組みとして今年度は毎日の熱中症予報を掲示し、また熱中症を未然に防止するために「カナリア」を導入しました。



社会貢献活動

● 寄付活動



大阪府が取り組む、子供の貧困対策の一助となるため、社会福祉法人大阪児童福祉事業協会を通じ、児童養護施設で生活する子供たちへの継続的な支援を行っています。

● ペットボトルキャップ支援で世界の子どもにワクチンを



認定NPO法人
世界の子どもにワクチンを 日本委員会
Japan Committee, Vaccines for the World's Children



ペットボトルキャップ 2 kgが

ワクチン1人分に

今年度より新たな取り組みとしてペットボトルキャップ回収を通じて、世界の子どもたちにワクチンを贈る活動に参加しました。エコキャップを再生プラスチック原料として換金し、9本のワクチン支援に貢献することが出来ました。



大規模災害に備えた総合訓練
(神奈川県秦野市)



被災地で巡回診療を行う救護班
(新潟県関川村)

©日本赤十字社



日本赤十字社の表彰状

近年、国内各地で発生し、頻発化・激甚化している台風や豪雨などの被災現場で救護活動を行っている日本赤十字社の医療チームに対し、その養成費用の支援活動を行っています。2020年には表彰状をいただきました。今後も少しずつですが支援の拡充を続けていきます。

取り組み内容	達成状況	次年度取り組み
環境に関する既存の基金・団体支援	○	継続

● 美化活動



取り組み内容	達成状況	次年度取り組み
周辺の道路のゴミ拾い、草刈実施	○	継続
地域美化活動参加	○	継続
事務所入口の植花活動事務所	○	継続

環境関連法規への違反・訴訟等の有無

	要求事項	遵守状況	法規制	要求事項	遵守状況
廃棄物処理法	産業廃棄物収集運搬業(特別管理)の許可	○	自動車NOx・PM法	排ガス規制適応車の使用	○
	優良産廃処理業者認定制度	○	道路運送車両法	所有車両の日常点検	○
	収集運搬車への表示及び書面備え付け	○		所有車両の定期点検(3ヶ月点検)	○
	排出事業者との書面による事前の契約締結	○		所有車両の法定点検(車検)	○
	マニフェストの受付処理	○		整備管理者の選任	○
	B1、C2票の保管(5年間)	○	道路交通法	安全運転義務	○
	B2票の返却(運搬終了後10日以内)	○		積載重量の遵守	○
	マニフェスト交付等状況報告書の提出	○		飲酒運転の禁止	○
	帳簿(収集運搬台帳)の備え付けと保存	○		安全運転管理者の選任	○
	事業者の責務	○	自動車リサイクル法	リサイクル料金の支払い	○
	廃棄物の悪臭・飛散防止	○	家電リサイクル法	特定家電品の適正な引渡し	○
不法投棄の禁止	○	消防法	危険物取扱者の届出	○	
労働安全衛生法	事業者の責務(労働者の安全と健康のための努力)		○	移動タンク貯蔵所定期点検	○
	安全または衛生のための教育		○	消火器および火災報知器等の点検	○
	フォークリフト定期検査	○	古物商営業法	古物商の許可	○
	健康診断の実施	○	建設業法	建設業の登録	○

環境関連法規への違反はありません。
また、関係当局より違反・訴訟等の指摘は、過去5年間ありません。

代表者による全体の評価と見直し・指示

全体評価	項目	評価の内容	見直し・指示	対象	変更の有無	見直し内容・指示
	環境への取組は適切に実施されているか	環境関連コンサルティング、電気使用量の削減、CO2排出量削減、燃料使用量の削減、一般廃棄物排出量の削減、水使用量の削減については適切に取り組みが行われています		環境経営方針	<input type="checkbox"/> 有/ <input checked="" type="checkbox"/> 無	実施済の環境経営方針を基に持続可能な環境経営活動に取り組んでください
	環境経営計画が有効に機能しているか	社内基幹システムを有効に活用し、CO2排出量削減に向けて積極的な取組ができています		環境経営目標 環境経営計画	<input type="checkbox"/> 有/ <input checked="" type="checkbox"/> 無	安全衛生・環境活動計画を予定通り実行することにより環境経営目標の達成を目指し、継続的改善を進めてください
				実施体制	<input type="checkbox"/> 有/ <input checked="" type="checkbox"/> 無	体制整備が進み、全員参加の意識が向上しました。さらに充実を図ってください

車両から排出されるCO2の削減に注力し「人・物・管理」の3要素から具体的な活動計画を定め取り組むことにより、CO2排出量削減について今年度も目標を達成することができました。

「人」: デジタルタコグラフのデータを有効活用し個人の運転特性を把握し、エコドライブ10等の教育実施により環境負荷低減意識レベル向上を図りました。

「物」: 最新型車両の購入により自動車燃料の車両使用時間当たりの実績値を抑えることが出来ました。

「管理」: 社内基幹システムを活用し、運行計画の効率的な立案検討を行い無駄な運行ルートを排除することにより、CO2の排出量削減に貢献しました。

今後は環境保全に配慮したコンサルティングの提案業務に注力し、人や地球にやさしい社会活動を目指す企業活動を公開すると共に、取引先からの信頼度向上・業績向上に努めてください。

2023年12月15日



株式会社丸萬商事
代表取締役 安本 晃